

第329回

日文研フォーラム

講師◎リーダー！津野田典子 マイアミ大学(アメリカ) 教授／日文研外国人研究員

鬼と鬼女と山姥とー山姥と鬼の関係

コメンテーター◎山田 奨治 日文研教授

司会◎呉座 勇一 日文研助教

2019年6月14日(金) 十八時三十分～二十時三十分(開場十八時十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十七時四十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies

The 329th Nichibunken Forum

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

鬼と鬼女と山姥と
—山姥と鬼の関係—Demons, Female Demons, and Mountain Witches:
Relationship between Mountain Witches and Demons

「山姥」という語を辞書で引くと「深山に住む鬼女」とあり、「鬼女」の項を引くと女の姿をした鬼として謡曲「山姥」の詞を引いています。昔話の「食わず女房」や「牛方と山姥」の山姥は鬼や鬼婆だったりしますが、一方「うば皮」や「米福栗福」のように主人公を助ける優しい山姥もいます。

本発表では昔話、謡曲「山姥」や御伽草子の「花世の姫」等にてくる山姥をみながら山姥と鬼女・鬼との相違やその関係を考察したいと思います。

講師 リーダー・津野田 典子 マイアミ大学(アメリカ) 教授/日文研 外国人研究員



1997年オハイオ州立大学(日本文学)にて博士号(Ph.D)取得。1997年マイアミ大学助教授、2011年同教授、2019年1月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は、日本文学、文化研究。主な著作に、『Seven Demon Stories from Medieval Japan』(ユタ州立大学出版局、2016)、『Japanese Demon Lore: Oni, from Ancient Times to the Present』(ユタ州立大学出版局、2010)、『Tales of the Supernatural in Early Modern Japan: Kaidan, Akinari, Ugetsu monogatari』(エドウィン メロン出版、2002)、『The Tale of Amewakahiko』, A Japanese Medieval Story』(『Marvels & Tales』第29巻2号、ウェイン州立大学出版、2015)、『Haseo soshi: a Medieval Scholar's Muse』(『Japanese Studies』第35巻1号、テイラー&フランシス、2015)などがある。

コメンテーター 山田 奨治 日文研 教授



1986年筑波大学大学院修士課程修了。1998年京都大学博士。会社勤務、筑波技術短期大学助手を経て、1996年国際日本研究センター助教授、2011年同教授。専門分野は、情報学、文化交流史。

主な著作に、『日本の著作権はなぜもっと厳しくなるのか』(人文書院、2016)、『東京ブギウギと鈴木大拙』(人文書院、2015、第31回ヨゼフ・ロゲンドルフ賞受賞)、『日本の著作権はなぜこんなに厳しいのか』(人文書院、2011)、『禅という名の日本丸』(弘文堂、2005)、『〈海賊版〉思想-18世紀英国の永久コピーライト闘争』(みすず書房、2007)、『日本文化の模倣と創造-オリジナリティとは何か』(角川選書、2002)が、共編著に『日本怪異妖怪大事典』(東京堂出版、2013)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸太町線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車